

次期鈴鹿市総合計画の構成等

●策定の基本的な考え方（総合計画2023の継承と発展）

- 2023（令和5）年度までを計画期間とした「鈴鹿市総合計画2023」では、総合計画を中心としたトータルマネジメントシステムを導入した上で、住民主体で行う地域づくりの推進体制の構築をはじめ、人口20万人都市の維持を目標に、各種施策を展開し、『みんなに愛され 選ばれるまち』を目指して取り組んできました。
- 本計画では、これらの取組を継承・発展させるため、次の4つの大きな方向性を示した上で、市民・行政を含め、地域づくり協議会や企業、NPO、住民団体などの様々な主体が共有し、それぞれがまちづくりを進める上での活動指針となる計画として策定します。

■「人口減少対策」「デジタル化」を前面に打ち出した計画

人口減少対策の方向性を示します。また、本市の魅力や行政サービスの更なる向上と地域課題の解決につなげるためのDXに向けた取組を明確にします。

■持続可能なまちづくりに向けた計画

SDGsとの関係性を明確にします。SDGsの目指す「だれ一人取り残さない」社会を実現するため、持続可能なまちづくりの実現に向けた計画にします。

■市民とビジョンを共有し、みんなで「協働」する計画

総合計画2023で培った地域力がさらに発展し、一緒に協働のまちづくりに取り組んでいけるよう、市民との共通目標としての「ビジョン」を明らかにした計画にします。

また、鈴鹿市まちづくり基本条例及び鈴鹿市協働推進指針に基づき、「協働」の進め方を示します。

■結果が反映され、重点的な取組が見える化・魅せる化した計画

市民の満足度を測り、その結果を計画に反映します。

また、重点的に取り組む内容を明確にします。

●次期鈴鹿市総合計画の構成（案）

